

## 目標達成計画

作成日: 令和2年 4月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいについて開所5年を迎えたが、地域交流室の認知度が低く、稼働が少ない。	気軽に使用してもらえるよう、外部に向けて、アピールする。 地域の方たちの居場所となる。	小中学校や、公民館などに、ポスター等の掲示を依頼し、周知活動を行う。 地域交流室のみならず、サロン等の活動を、屋外で実施する工夫をし、より、地域へと発信できるように努力する。	3ヶ月
2	26	チームでつくる介護計画や、モニタリング・評価について 介護リーダーや看護師のみでの、意見反映が多く、多職種での意見交換が不足している。	スタッフ全員の意見が反映される 介護計画の作成 モニタリング・評価に対する参加	職場会議やケアカンファレンスに多くの参加ができるよう、設定を柔軟に変更します。 多職種によるチームをつくり、計画作成から、評価までのサイクルに多くのスタッフが関わられるようにします。	12ヶ月
3	49	食事を楽しむことのできる支援について 個別の嗜好カードを作成して、できるだけ個々の食べやすいものを提供している。 栄養面や既往に応じた栄養管理の面では課題がある。	利用者の病歴や、体調を基にした食事の提供が出来る 嗜好や、その時の気分にも気を配る。	管理者・ケアマネ・看護師だけでなく、調理のみで入るスタッフも、利用者の健康状態についての基本理解を深める。 定期的なケアカンファレンスを行い、身体・健康状態に応じた食事になるようにする。 スタッフの様々な意見を尊重し合えるチームになる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。